

インドバイオ技術局・科学技術局、 公的資金に基づく論文掲載に関する意見募集を開始

2014年7月9日
JETRO ニューデリー

インド科学技術省傘下のバイオ技術局(DBT)・科学技術局(DST)は、両局の支出による公的資金に基づいて行われた研究開発についての、研究論文の掲載について、オープン・アクセス・リポジトリに、その論文全文を掲載するよう、受託者/著者に求めることとする新政策案を発表し、本年7月25日〆切で意見募集(提出先:madhan@dbt.nic.in)を開始した¹。

意見募集の概要は以下の通り。

- ・ DBT/DST は、公的資金を個人科学者/組織/新興企業に提供すること等により、基礎/橋渡し/応用研究の支援を行っている。
- ・ DBT/DST からの資金は全て公的資金であり、それによって得た情報や知識は、速やかに一般に利用可能となるべきである。
- ・ DBT/DST は、受託者が質の高い査読付雑誌に掲載されることを期待するが、掲載に係る費用の負担は行わない。
- ・ DBT/DST は、将来的な資金提供の是非を決定するにあたり、雑誌名ではなく、研究内容を考慮するとの原則を確認する。DBT/DST は、個々の科学者の貢献度、雇用、昇進、資金提供の是非を評価するにあたり、個々の論文の質の評価手段として、雑誌のインパクト・ファクターを活用することは推奨しない。
- ・ DBT/DST は、これら論文を無料のオープン・アクセス・リポジトリに登録することが、情報伝搬を最大化し、より良い研究文化を醸成すると信じる。
- ・ 受託者は、オープン・アクセス・ジャーナルへの掲載、又は購読雑誌での公開を選んだ者においては最終的に受理された論文をオンライン・リポジトリに登録することで、当該論文をオープン・アクセス下に置くことができる。

なお、本意見募集では、オープン・アクセス・リポジトリへの登録について、その対象、リポジトリ先、対象者、登録方法、著作権の取り扱いについて、その詳細が提案されている。

(今浦 陽恵)

本内容は、日本貿易振興機構が2014年7月現在入手している情報に基づくものであり、その後の法律改正等によって変わる場合があります。また、掲載した情報・コメントは著者及び当機構の判断によるものですが、一般的な情報・解釈がこの通りであることを保証するものではないことをあらかじめお断りします。

¹ http://dbtindia.nic.in/docs/DBT-DST_Open_Access_Policy.pdf
http://dbtindia.nic.in/docs/DST-DBT_Draft.pdf